



あさひかわ創造都市推進協議会

Asahikawa Creative City Promotion Council

事務局／旭川市 経済部 産業振興課

〒078-8801 旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号 旭川リサーチセンター2階

Secretariat / Industry Promotion Section, Economic Department, Asahikawa City

Asahikawa Research Center, 2nd Floor, 1-jō 3-chōme Midorigaoka Higashi, Asahikawa 078-8801

TEL : 0166-65-7047 Fax : 0166-65-7048

design.asahikawa@gmail.com

<https://design-asahikawa.jp>

発行日 2025年3月
Published March 2025

City of
Design
ASAHIKAWA

Member of the UNESCO
Creative Cities Network
since 2019

design

デザイン都市旭川宣言

1. デザインの目的は幸せを増やすことです。

私たちは、デザインが幸せを増やす利他的な行為であることを再確認します。
デザインは時代と共に変化が求められます。
モノが不足する社会にはその充足を、そして異常気象と人工知能が加速する現代には、
従来とは全く異なる取り組みが必要になります。
私たちは、デザインによる問題を発見し解決する機能を最大化して、
誰にも幸せを届けられる世界の実現を目指します。

2. デザインの力で自然と社会の調和を図ります。

私たちは、社会的な存在である前に生態系の一部です。
五感を覚醒して自然の言葉を真摯に受けとめ、多様な生態系と共存する道を見いだすことが重要です。
私たちの活動の源泉は自然にあります。
全ての都市は例外なく自然の恵みの上に成り立っているのです。
したがって、私たちは、デザインの力を最大限に活用して自然と社会との望ましい調和を図ることに努力します。

3. デザインは社会的要素を結合する触媒になります。

私たちは、デザインの触媒としての機能で政治、行政、教育、文化、産業の有機的関係を強くします。
デザインは社会的要素を結合することによって創造的な価値を生み出すことができます。
デザインは多様な物事を関連付け、その本質を分りやすく表現することができます。
私たちは、そのつなげる力を活用して今までにない持続可能で幸せな社会をつくります。

4. 市民のデザインリテラシーを高めます。

私たちは、全ての市民のデザインリテラシーを高めることに力を注ぎます。
それは同時に、デザイン都市に暮らす市民相互の結束を強めることでもあります。
とりわけ未来を担う若い世代には、あらゆる教育の機会を通じてデザインに対する理解を深めてもらいます。
同時に、デザイン都市の多様な文化などの学びを通して都市相互のネットワークを強化することに努めます。

5. 持続可能な未来への責任を果たします。

私たちはデザイン都市として未来への責任を持っています。
それぞれの都市が抱える問題には、多様な解決策が求められます。
また、長い時間をかけて育んできた独自の文化を継承することも重要です。
私たちは、各デザイン都市の目標を理解しあい、ネットワークをより緊密にして、
それぞれの都市の目標実現のための後押しをします。

理念と
スローガン

デザインの森をつくる

Asahikawa - Creating Our Forest of Design



ミッション

1. 自然と社会の調和をデザインによって実現し、持続可能な未来をつくる
2. 次世代が活躍する市民参加型のデザイン創造都市を目指す
3. 創造都市ネットワークを通じて社会課題を発見し、解決を図る

デザイン都市旭川宣言

(2024年10月 サブネットワーク会議 in 旭川)

「デザイン都市旭川宣言」は、ユネスコ創造都市サブネットワーク会議の旭川開催を機に草案が作成され、2024年10月24日のデザイン都市会議にて正式に承認されました。自然との共生を大切に、持続可能で幸福な社会の実現をデザインの力で目指す内容です。
私たちは、地球温暖化をはじめとする容易には解決できない多くの課題に直面しています。これらは人類が豊かさを追求する過程で生み出したものであり、デザインもまたその一因としての責任があります。だからこそ、これらの課題の解決にも、デザインが果たすべき役割があると考えています。
これからのデザインに求められる最も重要な機能は、自然と社会の調和を促進することです。そのためには、まず自然を知ることから始めなければなりません。スピードや効率だけでなく、柔軟性や多様性を尊重する社会のデザインにおいて、自然は私たちに多くの示唆を与えてくれます。私たちは、デザインの力で持続可能で幸せな未来を築けると信じています。



ユネスコ創造都市ネットワーク(UCCN)

ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)は、世界遺産で知られる北海道・知床などの保全にも関与する国際機関です。ユネスコ創造都市ネットワークは、「創造都市」の概念を1995年に提唱したチャールズ・ランドリーの考えを基に、ユネスコ事務局長(当時)松浦晃一郎氏の主導により2004年に開始されました。このネットワークは、「文学」「映画」「音楽」「工芸」「デザイン」「メディア・アート」「食文化」「建築」の8分野で構成され、2025年3月現在で世界350都市が加盟しています。

日本では11都市が認定されており、旭川市は「デザイン」分野で神戸市、名古屋市に次いで3番目の認定都市となります。旭川市は、世界49都市のユネスコ創造デザイン都市の一員として、デザインの力で自然と社会を調和させ、市民参加を通じて次世代が活躍できる持続可能な都市を目指しています。これらの取り組みが評価され、旭川市は2024年にユネスコ創造都市ネットワーク・サブネットワーク会議(デザイン分野)を開催しました。



- 神戸市(デザイン/2008)
- 名古屋市(デザイン/2008)
- 金沢市
- (クラフト&フォークアート/2009)
- 札幌市(メディアアート/2013)
- 浜松市(音楽/2014)
- 鶴岡市(食文化/2014)
- 丹波篠山市
- (クラフト&フォークアート/2015)
- 山形市(映画/2017)
- 旭川市(デザイン/2019)
- 白杵市(食文化/2021)
- 岡山市(文学/2023)

ユネスコ創造都市ネットワークとの連携

UCCN 年次総会

世界の創造都市が集い、過去1年間の活動報告、成功事例・課題の共有、今後の方針やプロジェクトの決定を行う総会。都市間の連携と共創を促進する場です。

UCCN デザイン都市会議

デザイン分野の都市が集まり、最新のトレンドや課題、ベストプラクティスを共有。都市ごとのニーズに応じたプロジェクトの立ち上げなど、ネットワーク全体の価値向上を目指す場です。

2024UCCNデザイン都市旭川会議 (2024年10月21日~24日)

参加都市：21か国23都市から48名

今津寛介・旭川市長による開会挨拶ののち、ユネスコ文化
部コミュニケーション責任者デニス・バックス氏からの
祝辞が披露されました。会議では、各都市の成功事例の
紹介や分科会(ビジネス・教育・政策・ソーシャルデザ
イン)によりデザインの可能性を議論。最終
日には「デザイン都市旭川宣言」が採択され
ました。



くらす

日常に生きるデザイン

旭川らしい暮らしとデザイン

少子高齢化の時代にふさわしいウェルビーイングを目指し、

自然と共にある生活をデザインの視点から再構築します。

地域の強みを生かして、旭川ならではの持続可能で幸せに満ちた暮らしの実現を目指します。

キッズデザイン

未来を担う子どもたちの創造力と発想力を育むため、3種類のデジタルブックを教材として制作。市内小中学校での出前授業や、高校生の探究活動において、大学生や地域のクリエイターと連携したワークショップを実施しています。

まちなかキャンパス

平和通買物公園を会場に、高校・高専・大学生・市民団体が参加する学びのイベント。来場者にデザイン・まちづくり・SDGsへの関心を高める機会を提供し、地域の未来を担う次世代の人材育成に取り組んでいます。

デザイン×クリエイティブセミナー

地域住民や事業者を対象に、デザイン思考の普及と実践を促すセミナーを開催しています。講師による講演や実践的なワークショップを通じて、デザインへの理解と関心を高め、地域全体のデザイン力の向上を目指しています。



つくる

創造性を育む環境づくり

創作支援と協同の場

アーティスト・クリエイターの支援や、市民・企業が協力して新たな価値を生み出すワークショップ・ラボを実施しています。
地域資源を生かした作品づくりや製品開発、デザイン経営の伴走支援を行います。

旭川の産品や都市の魅力づくりをデザインで

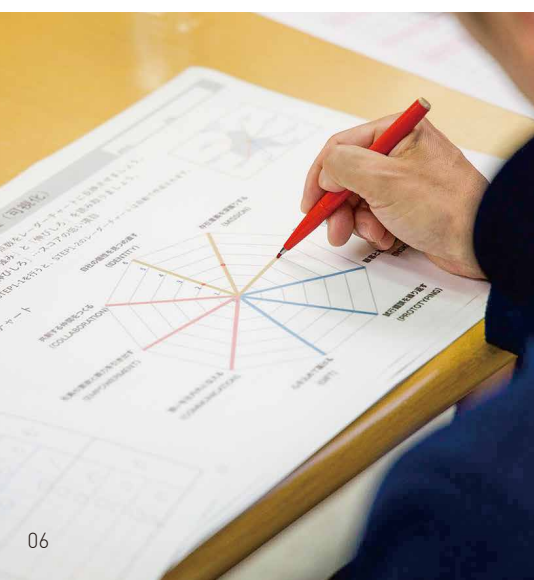
地域を代表する農産物や工業製品などの魅力をデザインで高め、多くのユーザーに発信します。豊かな自然環境を生かし、国内外のクリエイターネットワークと協同して、旭川らしい都市デザインを目指します。

デザイン経営 伴走支援スターターキット

変化する時代に対応するため、デザインの力で企業力を高めることを目的に、「デザイン経営スターターキット（あさひかわ版）」を制作しました。企業・団体・個人がデザイン思考を理解・実践するための共通言語として活用しています。

旭川デザイン プロデューサー育成事業

2020～2022年にかけて、地域課題の解決を導く人材育成のために「あさひかわデザインプロデューサー（ADP）」育成事業を実施しました。デザイン都市をリードし、地域の魅力を高め、持続可能な発展を支援する担い手になります。



つなぐ

人・モノ・コトの交流

人と社会と自然をつなぐデザイン

デザインはあらゆるモノやコトをつなぎます。

いろいろなイベントを通じて人が集うハブを提供します。

また、さまざまなモノが集まり情報を交換する場がいたるところにあります。

デザインには、暮らし・産業・教育・行政などを結合する触媒としての働きがあります。

あさひかわ デザインウィーク

家具・クラフト・建築・機械金属・食・観光など、多様な地場産業や団体・市民・教育機関が参加するデザインイベント。北北海道の豊かな自然とともに、地域に根ざしたデザインの魅力を体感できる企画を展開し、全国・世界へと発信しています。

デザインギャラリー

デザインに触れ、学び、交流する拠点。展示やイベントの開催、コワーキング・ミーティングスペースを併設し、地域デザイナーの発表やコラボレーションの場を提供。創造的な出会いとイノベーションの起点を目指しています。

旭川デザインセンター

旭川家具の展示場として開設されたデザインセンターは、デザインの拠点として家具以外にもデザインを広げる役割を担っています。持続可能性が求められる今、北海道産材を活用し、環境負荷の少ないモノづくりに挑戦しています。



あさひかわ創造都市推進協議会
主な取組（2024.4—2025.3）

くらす

まちなかキャンパス2024

6月22日・23日に、平和通買物公園を舞台に開催し、32団体が計55の展示・発表・体験ブースを展開した。
▶来場者数 約69,000人

小・中学校への出前授業

キッズデザイン出前授業として、細谷壘さん、本田蒼風さんを講師にデザインを学ぶワークショップを開催。
▶小・中学校 2校
▶参加者数 76名

慶應義塾大学SFC連携事業

慶應義塾大学SFCの吉井研究室と旭川市立大学の杉村ゼミが協力して、探求授業に使用するワークショップツールを開発し、そのツールを使用したワークショップを実施。
▶高 校 2校
▶参加者数 延べ98名

旭川のミライを想像・創造しよう

市内の高校生2人が自分達の手でより良い未来をつくりたい、そんな思いから、企画したワークショップを実施。
▶ファシリテーター 板谷 斗二 旭川明成高校
荻生 亜紀 旭川北高校
▶参加者数 13名

地域行政×デザイン人類学への登壇

旭川市で実践するデザインシステムなどの取組みについて紹介

デザイン×クリエイティブセミナー

- ① 「WOOD DESIGNから社会造形へ」
講 師：株式会社日本総合研究所／
創発戦略センター エクスパート
井上 岳一
武蔵野美術大学教授／
ソーシャルクリエイティブ研究所所長
若杉 浩一
参加者数：54名
- ② 旭川・まちとみらいとデザインと
～藤本壮介とミケーレ・デ・ルッキが語る森と建築
登 壇 者：建築家 藤本 壮介、
ミケーレ・デ・ルッキ（オンライン）
参加者数：210名

- ③ WOODS & DESIGN Asahikawa 2024
「日本の森のISSUE-IDEA-DESIGN」
自然と共生した持続可能な社会と地域産業の実現に向けたトークセッション。
コーディネーター：パノラマティクス 主宰 齊藤 精一
登 壇 者：道内外の林業関係者等 7名
参加者数：105名
- ④ Salone del Mobile Milano 2024
登 壇 者：建築・空間デザイナー 成ヶ澤 伸幸、
オペラ歌手 朝来 泰生
参加者数：200名
- ⑤ 世界から見た旭川の未来と可能性
登 壇 者：建築家 藤本 壮介、
ミケーレ・デ・ルッキ
参加者数：145名
- ⑥ 未来をつくるデザインの役割
登 壇 者：旭川市CDP 石川 俊祐、
パノラマティクス 主宰 齋藤 精一
参加者数：107名
- ⑦ 旭川フードミーティング
講 師：一般社団法人ナチュラル&ミネラル食品アドバイザー
協会 代表理事 中戸川 貢
トークセッション：
中戸川 貢
デザインスタジオ・オザキ 代表 尾崎 満範
参加者数：92名
- ⑧ 旭川の未来を共に描こう
講 師：SRE ホールディングス株式会社 CT事業準備室
佐々木 啓文、福井 利匡
参加者数：11名
- ⑩ 地域の魅力を再発見
～人と人、人と地域をつなぐ仕組みをデザインする
講 師：UMA/design farm 代表 原田 祐馬
参加者数：57名
- ⑪ デザインを言語化する力
～誰もがデザインを学び活用できる未来へ
講 師：デザイン教育家 稲葉 裕美
参加者数：74名
- ⑫ 生成AIとまちづくり
～テクノロジーが共創する未来の可能性
講 師：イトシマ株式会社 代表取締役
平野 友康
参加者数：34名

つくる

旭川デザインプロデューサー派遣事業

- ▶中小企業等にADPを派遣し、デザイン経営の伴走支援を実施。7件
- ▶ROUND TABLEによる相談会を実施。1回
- ▶職員研修のファシリテーターとして派遣。2回
- ▶地域の団体の講師として派遣。1回

デザイン経営コンパスハンドブック

デザイン経営導入支援ワークショップを一般社団法人北海道デザインラボと一緒に開催。
7事業者



デザイン×ファシリテーター養成ワークショップ

デザイン思考で広がる可能性を体感しよう！
講 師：明星大学デザイン学部非常勤講師 加藤 修平
参加者数：12名

デザイン経営スタートキットあさひかわ版

企業や団体、個人がデザイン思考やデザイン経営を理解し活用するため、基礎的な情報を整理し“共通言語”となるスタートキットを作成。
製作：一般社団法人あさひかわ地域創造デザイン局



あさひかわ創造都市推進協議会
主な取組 (2024.4—2025.3)

つなぐ

ユネスコ創造都市との交流

- ▶UCCN第16回年次総会に参加(ポルトガル・ブラガ)
- ▶UCCNサブネットワーク年次会議を開催(旭川)
21か国23都市から48名が来旭
デザイン都市旭川宣言を採択
- ▶サブネットワーク会議旭川開催に関するオンライン打ち合わせ 16回
- ▶サブネットワークオンライン会議に参加(ワンガマイ)
- ▶UCCN・CCNJ国内ネットワーク会議に出席(丹波篠山市)
- ▶ユネスコ・デザイン都市推進委員会
カンファレンス「往来|Correspondence」を開催 66名参加
- ▶デザイン都市のソウル市へ旭川市長が訪問
連携に向けて両都市の活動紹介など意見交換
- ▶ドバイ図書館プロジェクト意見交換
- ▶ブラジル創造都市フォーラム(ブラジリア)オンライン参加

あさひかわデザインウィーク2024

6月15日から23日の期間で、「Life with」をテーマに開催。朝のあさひかわを体験する「あさいち」の新規開催や3年に一度の国際家具デザインコンペティション旭川を開催。期間中は、40近いイベントが市内・近隣町で催された。

▶来場者数 160,000人超

デザインギャラリーの活用

デザイン拠点を活用したワークショップやトークイベントなどを開催し、地元クリエイターとの交流機会を創出。

▶イベント数 130回
▶来場者数 6,765人

地域おこし協力隊との連携

デザイン拠点を活用したイベント運営等

▶上田カオル 2023年11月から任用(旭川市)
▶小山れいこ 2025年3月から任用(旭川市)

旭川の顔きらめくイキイキ1000人プロジェクト

旭川や周辺町の多彩な業種クリエイター1000人が登録可能なWEBサイト。
製作：さなデザイン室、
一般社団法人あさひかわ地域創造デザイン局



(1) 入会と活動のご案内

あさひかわ創造都市推進協議会は、デザインを通じて旭川の未来を共につくる仲間を募集しています。協議会では、まちなかキャンパスやセミナーの開催、デザイン思考の普及・啓発、学生・市民との協働プロジェクトなど、さまざまな活動を行っています。市民、事業者、団体など、どなたでもご参加いただけます。ぜひ一緒に、デザインの力でまちを育てていきましょう。ぜひ、入会フォームからお申し込みください。

▶入会フォームはこちら



▶あさひかわ創造都市推進協議会の活動



(2) デザインの力を、未来のカタチに

あさひかわ創造都市推進協議会は、旭川市と共にデザイン振興基金を活用し、デザインで地域の未来をつくる様々なプロジェクトを展開しています。今後の継続的な取り組みのためにも、皆さまのご支援、ご寄付をぜひお願いいたします。

▶旭川市ふるさと納税特設サイト
<https://www.asahikawa-furusato.com/>



(3) Instagramで最新情報をチェック

イベントやセミナー、デザインにまつわる活動の様子を随時発信中！旭川の「いま」をぜひフォローしてご覧ください。

▶あさひかわ創造都市推進協議会公式Instagram
@design_asahikawa

